

ANOR ニュースレター From オーストラリア 2005年12月

〔翻訳〕

1. 健康な土壌協会、豪州（HSA）の設立

ANOR の考えも反映し、健康な農地の回復を目指す行動を積極的に行う為に、農家と地域住民からなる、豪州全域を対象とする新協会が設立された。

日本の秋田での、ANOR の会合で、豪州のゲリー・ギレスビーより、有機性廃棄物製品を、廃棄物の原料の生産国に戻す方策の研究が提案された。

本協会設立の趣旨は、豪州の健康な土壌を守る為には、有機物の還流が、安定して行われなければならないと言う事である。

本協会は、ゼロ・ウェイスト・豪州の会合で決められた、農地保有者に革新的な土壌管理と改善の方策を示し、豪州の農地の健全性、生産性、持続可能性を推進する事を、設立の目的としている。

個々の農家、企業、地域グループが夫々抱えている土壌の健康問題は、国全体で、技術、科学の粋を糾合し、対応する事で解決される。

酸性土壌、乾燥地の塩害、生育障害、水質問題等の様な、大きな環境問題が消えずに広がっている事は、農地管理に新しい、整合性のある対策を必要として証左である。

現在の対策は、市街地、非市街地 又科学、産業、政府間の連携が取られておらず、有効でない。

HAS は科学と産業、市街地住民と非市街地住民を連携する事によって、生産と環境問題の改善に重要なヴィジョンと統合を提供する。

HAS の活動は、非市街地社会と環境間の、又市街地社会も含めて、両者間の持続性を目指している。市街地社会は農産物の主な市場であり、又、土壌を改善するのに、必要な有機性廃棄物の供給元である。

HAS は、R アンド D、商品化、土壌管理に関する新技術の移転の為に資金を、供給する革新ファンドを立ち上げた。

HAS は関係者全員に有益な結果を齎す事を目的として、主に産業界に依って、行動を最優先する、プログラムとして設立された。

HAS のメンバーは、土地を健康な状況で使用する目的を持つ方であれば、個人、法人共に加入は自由であり、多くの方の参画をお願いする。

農業者の方からの反応は、活発であり、多くの計画が今年、実現すると思われる。

HAS の詳細については、下記のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.healthysoils.com.au>

炭素循環の管理フォーラム

土壌中の炭素問題に関するフォーラムが、クリスチン・ジョーンズ博士の指導で、9月14日、15日、豪州、ニュー・サウス・ウェールズ州、アーミデールで開催された。このフォーラムには、農業用土壌に於ける、炭素分離とその影響の問題を討議する為に、豪州の最も革新的な農業者、科学者、行政関係者が参集された。

HAS のボードメンバーである、ブライアン・タンスタール博士とゲリー・ギレスピーが講演した。

フォーラムを指導された、ジョーンズ博士は、科学界、農業界に広いネットワークを持っておられ、この重要な議題を討議する為に、多くの識者が参集された。

2日間の講演の後、質疑応答が行われ、フォーラム参加者は、全員が考えを新たにすると共に、豪州の一般大衆にこの考えを広げる事を決議した。

コンポスト・豪州とクリスチン・ジョーンズ博士の協力又 HAS 並びにゼロ・ウェイスト・豪州の助力により、次のフォーラムが豪州の他の都市で、又より規模の大きいフォーラムが2006年キャンベラで開催予定である。

フォーラムの講演並びにクリスチン・ジョーンズ博士のお仕事は、下記のウェブサイトを参照されたい。

www.amazingcarbon.com

有機物の土壌への還元計画3年目に入る

ANOR ニュースレターの読者は、ANOR の2004年10月6日の会議報告で、掲題の計画に付いての記事を、読まれた事を思い出されると思う。この計画に関する、農場での調査は2006年に、3年目に入る事になる。

この計画は、地方の行政による、インフラとサービスの提供であり、又廃棄物の管理とリサイクルの問題である。

しかしながら、有機物の土壌への還元は、雇用、資源、環境価値の面で価値を社会に

戻す事に繋がり、大きな経済的、社会的利益を齎す。

これは、有機製品の再利用製品についても同様である。

品質の高いコンポストにし、農業に使用すれば、その価値は更に大きくなる。

この計画で、製品の品質をどの段階においても、良好に保ち、農業に使用すれば、収拾のコスト以上の利益を齎す事が出来る。

この試験が行われた地域、クイーンベイヤンでは、埋め立てのコストは77豪ドルである。シドニーでの未選別ゴミの埋め立ての処理費用は、トン当たり100豪ドルから、150豪ドルである。

コンポスト製造業者は、豪州基準のAS4454に合致した高品質のコンポストを200キロ離れた所に、利益込みで、50豪ドルで生産輸送出来る。

これは、埋め立て費用をかなり下回る価格で、製品を農場まで、輸送出来るという事である。

有機物の土壌への還元計画はモデルであり、どんな地域、地方でも都会でも応用可能であり、次の事項を目指している。

都市ゴミの汚染を減少する。

品質の高いコンポストの生産を継続する。

農業の収益の向上を証明する。

地域の廃棄物選別出荷の努力に報いる為に、利益の小額部分を地域に還元する。

この計画は、集荷、処理、輸送の面で、現に存在する、ロウ・テクの装置を使用している。

緑肥供給の原点である世帯を、農業に最も効率的に結びつける為に、報償制度が考え出された。

集荷の運転手は、容器の蓋を開け、ガラス、金属、プラスチック等の混入が無いかチェックする。若し混入が見られなければ、容器は集荷トラックに空けられ、内容が更にチェックされる。

若し、更に混入が無ければ、夫々の容器の後の取っ手の裏側の下部に付けている、小さなバーコードを携帯用のスキャナーでスキャンする。

当日の集荷時にスキャンした、全ての番号が集荷完了後、コンピューターに移され、2週間毎の集荷毎に2つの番号がランダムに勝者として選択される。

勝者となった2つの世帯には、果物と野菜の籠が贈られ、世帯と農家の繋がりを強化する。より大きなシステムでは、これらの報償は地域の報償に加算され、最終的には、カーボン・クレジットになる。

この計画の主な革新的な点は、品質の良い有機物を農業に投与する金銭的な利点を、明らかにした事であり、先ず最初に選別出荷に協力される世帯に、その金銭的なメリットの一部を還元する。

この計画は、英語と日本語でレポートされており、コピーは豪州のゲリー・ギレスピーに依頼されたい。

最終報告は来年、ANOR メンバーである、サラ・ピーアビス博士が行う予定である。

ANOR の新しい年へ

オーストラリアとニュージーランドの ANOR のメンバーから、他の国の ANOR メンバー全員へ、幸せで、平和で、幸運な新年をお祈り申し上げます。

近いうちに、お会い出来る機会を皆で又持てる事を、祈ります。

豪州のゲリー・ギレスピーより